

● 第2次産業就業者比率

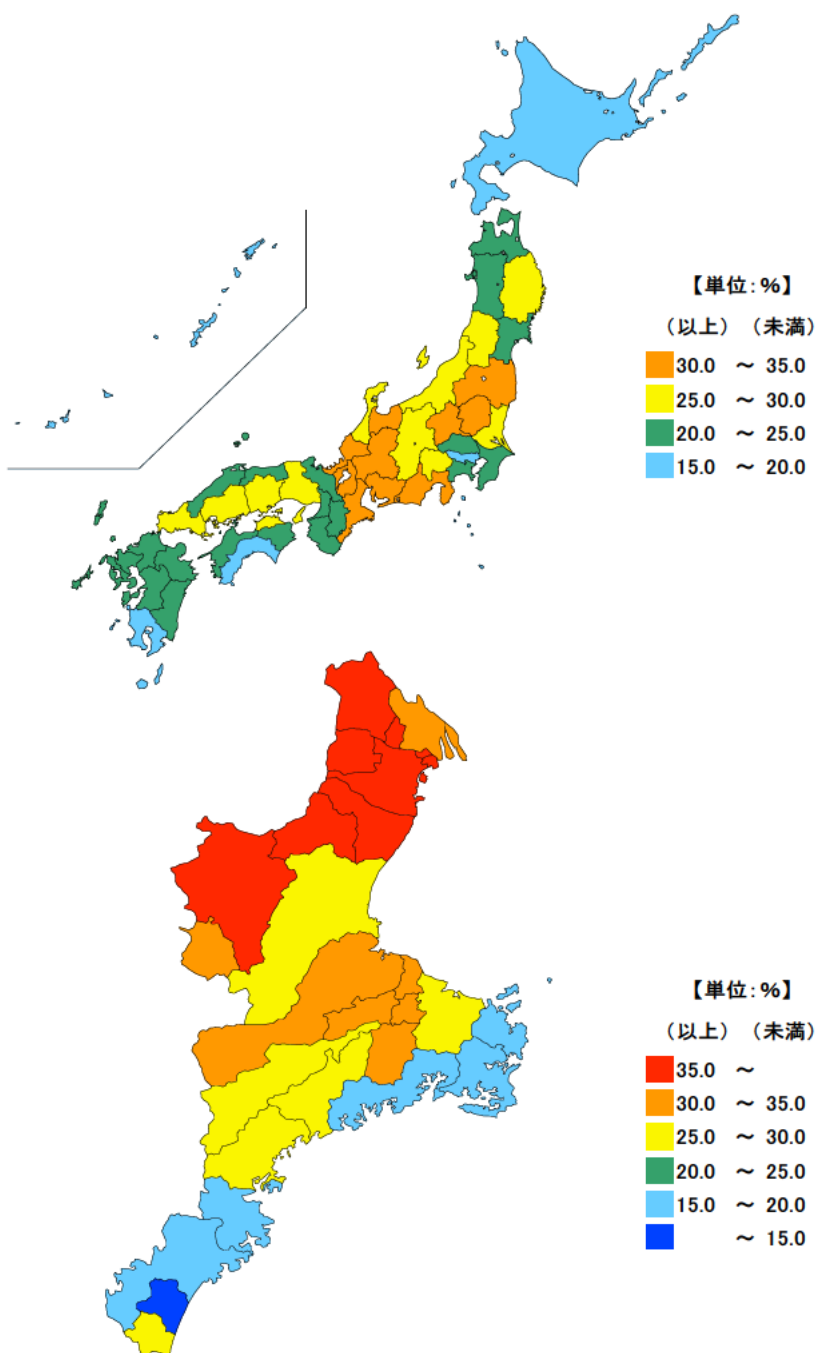
平成27年

単位：%

都道府県	値	順位
全 国	25.0	
滋 賀 県	33.8	1
富 山 県	33.6	2
愛 知 県	33.6	3
静 岡 県	33.2	4
岐 阜 県	33.1	5
三 重 県	32.0	6
鹿 児 島 県	19.4	43
北 海 道	17.9	44
東 京 都	17.5	45
高 知 県	17.2	46
沖 縄 県	15.1	47

単位：%

市 町	値	順位
いなべ市	46.7	1
亀 山 市	39.5	2
伊 賀 市	39.3	3
東 員 町	38.9	4
菰 野 町	38.4	5
川 越 町	36.8	6
朝 日 町	36.7	7
鈴 鹿 市	35.8	8
四 日 市 市	35.1	9
度 会 町	34.5	10
玉 城 町	33.8	11
桑 名 市	33.5	12
名 張 市	33.2	13
木 曾 岬 町	32.7	14
多 気 町	32.5	15
明 和 町	30.8	16
松 阪 市	30.2	17
大 紀 町	29.7	18
大 台 町	28.2	19
伊 勢 市	26.9	20
津 市	26.6	21
紀 北 町	26.5	22
紀 宝 町	26.1	23
尾 鷲 市	19.5	24
南 伊 勢 町	19.5	25
志 摩 市	18.7	26
鳥 羽 市	17.5	27
熊 野 市	17.4	28
御 浜 町	14.7	29



平成27年の三重県の第2次産業就業者比率は32.0%で、全国順位は6位となっています。全国的には滋賀県及び東海北陸の各県が高くなっています。

県内では、いなべ市、亀山市、伊賀市、東員町等9市町が、35%以上と高くなっており、御浜町、熊野市、鳥羽市等6市町は20%以下となっています。

【資料出所】

総務省統計局「国勢調査」

【算出方法】

第2次産業就業者数÷全就業者数(「分類不能の産業」就業者を除く)×100